

2020年12月14日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 白根学園

学園長 磯貝 康正

白根学園障害者支援施設 希望における
新型コロナウイルス感染の状況について（第4報）
～ 希望施設は全面再開しました ～

白根学園 障害者支援施設 希望における利用者の新型コロナウイルス感染の状況についてご報告します。

陽性者の累計は利用者8名でしたが、その後新たな感染者は発生しておらず、最後に陽性が判明した利用者の健康観察期間が12月9日をもって終了し、職員体制も平常を取り戻しており、今回の感染による影響はほぼ収束したものと考えています。

事業所については、すでにホーム希望については12月1日（火）から、工房金魚については12月7日（月）から順次再開しており、希望の入所及び短期入所も本日12月14日（月）から再開し、これで障害者支援施設 希望として全面再開することとなります。

関係者の皆様方におかれましては、このたびの希望施設の集団感染の発生について、多大なご迷惑・ご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

なお、白根学園では、現在、障害者支援施設 しらねの里において、新たな集団感染が発生しております。詳細は別途本日発表しております、当学園ホームページのしらねの里関係第3報をご参照ください。

学園としては、基本の感染予防策を改めて徹底し、これ以上の感染拡大を食い止めるため、今後も保健所等関係機関と十分連携して対応してまいります。